

# 進路だより

おおさかりつ こうとうしえんがっこうしんるしどうぶ  
大阪府立すながわ高等支援学校進路指導部  
れいわ ねん がつ にち  
令和5年2月7日発行

がつ にゅうがくしやせんぱつ がっこう やす ひ おお まいあさむ ふとん で つら おも  
2月は入学者選抜もあり、学校が休みとなる日が多くなります。毎朝寒くて布団から出るのが辛いと思いま  
すが、早寝早起きをして生活リズムを崩さないように気をつけましょう。せっかくのお休みですので、計画を  
立てて有意義な時間を過ごしましょう。

## 「就労に関するアンケート」より

れいわ ねん がつそつぎょうせい きほんこうせい しゅうろうさきぎょう しや いらい  
(令和4年3月卒業生(6期本校生)の就労先企業21社に依頼。)

きせい せんぱい しゃかいじん ねん けいか ちんだい しょくば はたら  
6期生の先輩たちが社会人となり、もうすぐ1年が経過します。問題なく職場で働くことができているかを  
知るために、今年度も「就労に関するアンケート」を実施しました。集計の結果、ほとんどの卒業生が順  
調に職場定着することができています。また、コメント欄には就労先の方より貴重なご意見が集まりました  
た。その中に皆さんと共有したい内容がありましたので、一部紹介したいと思います。

### <企業からのコメント>

(すながわの生徒は) 挨拶ははっきりと実行されておりますが、以前から少し気  
なる点が一つあります。それは、「ありがとう」という感謝の言葉です。この言葉が  
少ないように感じております。照れくさいのかもしれませんが、彼らからこの言葉  
が発せられたら、対応も一段と楽になるように思えます。様々な支援や配慮等制度  
として、当たり前のように思ってしまうのかもしれませんが、社会では寛容的に見  
れない者も在ります。押しつけがましいですが、感謝の言葉の教育も取り入れられ  
たらいかがでしょうか？

「ありがとう」を言っていますか？

このコメントをいただいた企業では、現在4名の卒業生が就労しています。また、在校生の体験実習でも  
毎年お世話になっています。卒業生や現場実習での指導の中で感じている「やりづらさ」について、ご意見を  
いただきました。学校生活の様子を見ていても、助けてもらうことが当たり前になっている生徒が多いように  
感じています。困っていても、自分から質問や相談ができず、声を掛けてもらうのを待っている生徒も多いで  
す。誰かに何かを教えていただいたり、助けていただいたら、必ず「ありがとうございます」と相手に伝えま  
しょう。障がいのあるなしに関わらず、人と人とが良い関係を築いていくうえでの最低限のマナーです。はっ  
きりと声にして発しないと自分の気持ちというもの、案外伝わりにくいものです。

日ごろから意識して、「ありがとうございます」を言う習慣を身に付けていきましょう。

※アンケートの結果をすべてご覧になりたい方は、すながわ高等支援学校のホームページをチェックしてください！

# 「お手伝い」は「就労」へとつながります！！

生徒の皆さん、日ごろから家事のお手伝いに取り組んでいますか？将来の自立に向けて、自分の身の回りのことが出来る力をしっかりと身に付けておきましょう。

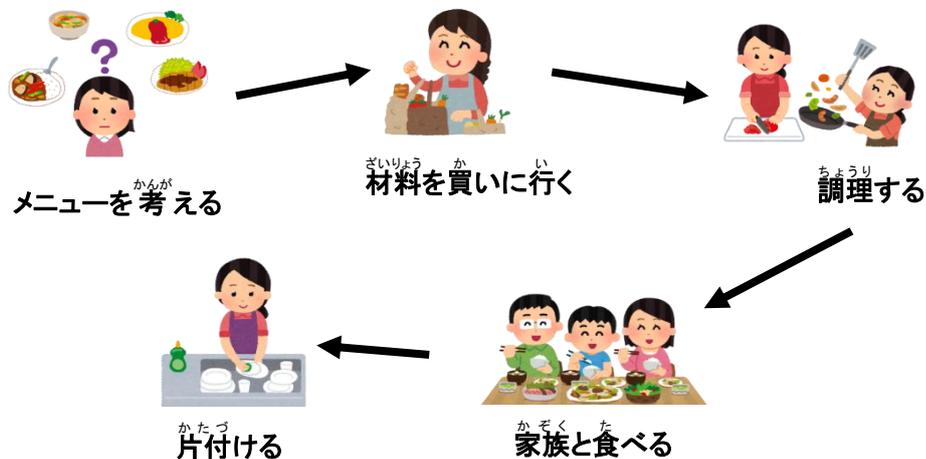
「家事」は、立派な労働です。清掃や洗濯、料理は職業としての仕事につながります。学校だけの学びだけではなく、家庭での日ごろの積み重ねが、実習先で役立ち、就労に結び付くことが多くあります。自分でできることを増やすために、お手伝いを習慣にしましょう。

## こんなお手伝いはいかがですか？

### 洗濯



### 料理



## お手伝いのポイント！！

- ①すべての工程を、一人でやってみる。
- ②うまくなるコツを保護者の方などに確認しておく。
- ③お手伝いは1度で満足するのではなく、継続して行う。

他にも、掃除（部屋・トイレ・お風呂など）、ごみ捨て、おつかいなど、いろいろなお手伝いがあります。続けられそうなお手伝いの内容を、保護者の方と相談してみてください。